

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	OS言語からみた「言語の語順」と「思考の順序」に関するフィールド認知脳科学的研究
研究代表者	小泉 政利 (東北大学・大学院文学研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、SO言語の特性に偏向した既存の言語理論を是正し、脳内言語処理メカニズムに関するより一般性の高いモデルを構築しようとするもので、極めて挑戦的、独創的な研究である。</p> <p>本研究は、応募者がこれまでの研究で着実に積み上げてきた研究成果を基盤としている。過去の研究から浮かび上がった課題の整理とそれに対する解決策が明快で、研究計画も緻密であることから、研究目的の実現可能性は高いと判断できる。また、少数言語の保存や復興にも確実に貢献するものであり、社会的意義も大きい。</p>